

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		事業系ごみの排出指導				所管	環境清掃部 台東清掃事務所			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	120	計画事業名	事業系ごみの排出指導					
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり							事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (2)循環型社会づくり							[事業開始] 平成 1 2 年度	
		[施 策] ①ごみ減量の推進							[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	事業対象	直接の対象 : 事業用途に供する床面積が1,000㎡以上の事業用大規模建築物の所有者及び廃棄物管理責任者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	事業用大規模建築物に対して区が立入指導等を行うことにより、事業系ごみの減量・資源化及び適正処理の推進を図る。								
	事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用大規模建築物の所有者から「再利用計画書」「廃棄物管理責任者届」を受理した。</li> <li>・事業用大規模建築物に対して、3年に1回程度の立入指導を行った。</li> <li>・廃棄物管理責任者等を対象に、ごみの減量・資源化・適正処理に関する講習会を年3回実施した。</li> </ul>								
委託の有無	なし	委託内容		なし						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	調査指導件数		件	120	106	103	128	100	128.0%
		廃棄物管理責任者講習会の実施回数		回	3	3	3	3	3	100.0%
	成果指標	再利用計画書提出率		%	100	75.4	93.9	95.5	100	95.5%
		講習会受講者数		人	145	132	126	141	130	108.5%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				141,371		150,019		149,868
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				335		531		311
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				0		0		0
		総経費				141,706		150,550		150,179
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源 (区負担額)				141,706		150,550		150,179	
前回評価から29年度に改善した事項	廃棄物管理責任者講習会への参加未回答の事業者及び不参加が続いている事業者に対して、電話連絡を行い、参加勧奨を強化した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	台東区から排出されるごみを減らしていくためには、区のごみ量の約6割を占める事業系ごみの減量・資源化・適正処理を推進していくことが不可欠である。							
	効率性	3	再利用計画書の提出を廃棄物管理責任者に働きかけたことにより、ごみの適正処理に関する意識を啓発することができた。							
	手段の適切性	3	事業系ごみの減量等を推進していくためには、ごみの適正処理に日々携わっている区職員による立入指導や廃棄物管理責任者への意識啓発が最も効果的である。							
	目的達成度	3	提出がない事業者に必要なに応じて提出を依頼するなどの取組みにより、29年度の再利用計画書の提出率は、95.5%となり、28年度の93.9%から1.6ポイント向上した。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
平成29年度は、事業者への働きかけを強化したことで、調査指導件数や再利用計画書の提出率を増加させるなど、一定の成果があった。今後も、事業系ごみの減量・資源化・適正処理を推進していくために、立入指導や講習会を通して廃棄物管理責任者の意識啓発に努めるとともに、戸別収集の利点を活かし、通常のごみ収集時におけるきめ細かな排出指導を行っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		